

秋田に合う住宅 発想競う

県など主催
コンクール 納谷さんに知事賞

秋田の気候や風土に適した住宅のアイデアを競う「第39回秋田の住宅コンクール」の表彰式が、秋田市のにぎわい交流館展示ホールで開かれた。県知事賞には、専門の部で最優秀賞に選ばれた納谷さん（納谷建築設計事務所）の「仏間のある住宅（F邸）」が選ばれた。県と県建築士事務所協会の主催。

専門の部、高校生の部、学生の部の3部門で実施。専門の部は既に建設された住宅や建設計画中の住宅が対象で、県内外から5作品の応募があった。「大家族の住まい」をテーマとした高校生、学生の部には県内外の大学や専門学校から計20作品集まった。納谷さんの作品は、間取りの中心に仏間を配置。家族や親族が先祖とつながり、存在を身近に感じられる造りにした。昔ながらの建築様式を取り入れ、開放的で包容力のある住空間とし、代々受け継がれることを願った気持ちのこもった作品となっている。

8日の表彰式で、県建築士

事務所協会の村田良太会長は「興味深い作品ばかりで審査に苦労した。受賞者の方々はこれを励みに次のステップでの活躍を期待している」とあいさつ。コンクールの委員長を務めた同協会の北嶋洋一さんは「今回は専門の部への応募が例年より多く、高校生の作品もレベルが高かった。来年はコンクールが40回を迎えるので、より多くの作品が応募されることを期待している」と話した。

作品の審査会は10月10日に



表彰状を受け取る納谷さん（左）

秋田市のANAクラウンプラザホテル秋田で実施。入賞者の作品は県建築士事務所協会のホームページで公開する。

（武田裕子）

納谷さん以外の入賞者は次の通り。（敬称略）

【最優秀賞】▽高校生の部・秋田魁新報社賞▽佐藤真優、永井美結（秋田工業高校）▽学生の部・日本建築学会東北支部秋田支所賞▽神藤一器（県立大）

【優秀賞】▽専門の部・県建築士会会長賞▽小倉大、柳原まどか▽コマド意匠設計室▽高校生の部・県建設業協会会長賞▽原田怜奈（由利工業高校）▽学生の部・日本建築協会東北支部秋田地域会長賞▽大澤祐紀（日本工学院八王子専門学校）

【新人賞】▽専門の部・県建築士事務所協会会長賞▽小倉大、柳原まどか▽コマド意匠設計室

【佳作】▽佐々木柑菜（由利工業高校）▽佐藤将矢（由利工業高校）▽中村千花（秋田公立美術大）▽中村千花、澤田歌月（秋田公立美術大）▽花田順、花田直子（花田設計事務所）▽阿部徹（小松木工）